



連休中の頑張りが光ってます！ ～ 各部の活動の様子 ～

【 陸上部 】

本番まであとわずかとなり練習にも熱が入ってきました。5月2日（月）は、当日の会場になる中田運動公園陸上競技場での練習を行いました。あいにくの雨模様でしたが、一人一人集中して練習に取り組んでいました。また、終了後に用具の片付けなどを自主的に行い、練習に来ていた他校の先生方から「素晴らしい部員達ですね」とお褒めの言葉を寄せていただきました。



【 バレーボール部 】

3日（火）から行われた白河市バレーボール交流大会。今年も昨年同様に泉崎中との連合チームでの参加となりました。結果は見事第3位となり、県南中体連総合大会のシード権を獲得しました。大会まで残り1ヶ月。さらに上位入賞を目指して頑張ってください。



【 卓球部 】

7日（土）、8日（日）の2日間、須賀川アリーナにて学年別卓球選手権大会が行われ、大輪志真さんがベスト16に入り、5月28日に行われる県大会に出場することになりました。今後も、中体連総合大会に向けて各自の課題をクリアし、大会で活躍することを期待しています。



青少年赤十字加盟登録式を行いました



9日（月）の朝会時に、青少年赤十字の加盟登録式を行いました。子ども達は、赤十字の活動を通して、その理念である「人道」「公平」「奉仕」などを体験的に学んでいきます。式では、赤十字社の成り立ちを学ぶとともに、青少年赤十字の誓いの言葉を唱和しました。生徒へは赤十字の一員になったことを証明するバッジを授与いたしました。

登録式での校長講話 ※ 一部抜粋

赤十字の創設者は、アンリ・デュナン（スイスの実業家）です。彼は1859年（31歳）の時に、仕事のためイタリアを訪れました。そこはイタリア統一戦争と呼ばれる戦争の真っ只中。約30万の兵士が血みどろの戦いを繰り広げていました。その惨状を目の当たりにしたデュナンは、仕事そっちのけで負傷した兵士の救護にあたります。しかも敵味方関係なくです。彼は「負傷した兵士はもはや兵士ではなく一人の人間だ。救護されるべきだ。」と訴え、町の人々の手を借りて多くの兵士を助けました。帰国後、その状況を1冊の本にまとめ、「戦争を起こしてはならないこと、もしそれが避けられないなら、平和なときから敵味方区別なく救護する団体を作ること」を強く訴えました。その本を読んで、デュナンの考えに賛同した多くの人々の協力により、1864年にスイスのジュネーブで国際会議が開かれ赤十字が成立したのです。



<アンリ・デュナン>

日本では明治の初め、佐賀藩の藩士だった佐野常民という人が、赤十字の理念に感動し同じような組織が日本にも作ろうと考えました。そのような時、西南戦争（1877年）が起こります。そこで佐野はデュナンと同じように、敵味方の関係なく兵士たちを救うために尽力しました。それをきっかけに博愛社という組織を立ち上げ、それがのちに日本赤十字社となりました。

赤十字は今や全世界192カ国に広まり、戦争や災害における傷病者の救護はもとより、医療支援、保健衛生支援、募金等による経済的支援、身近なところでは献血や各種ボランティア等、幅広い活動を展開しています。赤十字社の使命を一言でいえば「困っている人を助けること」です。今日皆さんが登録する意味とは「私は困っている人を助けます！」と宣言することです。とてつもなく大きな事をしようというのではありません。自分の周りで困っている人がいることに気づいたとき、自分ができることをしてあげること、それがたとえ誰であろうとも分け隔てなく、差別なく、平等に手を差し伸べることです。今月は、青少年赤十字運動強化月間です。皆さんの自覚と気づき、そして自ら行動を起こそうという姿勢を期待します。

< 今週の予定 >

9	月	朝会 奉仕部活動 Tタイム(漢検)
10	火	フッ化物洗口 陸上部競技場練習 PTA本部・専門部合同会議
11	水	貧血検査(3年) 尿検査(2,3年) 部活動なし ※16:10完全下校
12	木	ひまわり土壌作り(6時間目)
13	金	生徒会総会・県南陸上選手壮行会



◇◇ 今週の言葉 ◇◇

世の中、不可能なことなど山ほどある。
でも、そのほとんどが
自分で不可能にしまっていることが多い。

～ 最初から「無理！」って決めつけてませんか？ ～

